

南北交流・マーじゃん大会

企画趣旨

ゴルフなどスポーツ面では南北問わず交流も盛んに行われておりますが、文化活動の面では交流促進が行われておりません。

フィリピンに住まわれた日本人同士が、マーじゃんゲームを通じて、面白く、楽しく、愉快的ひと時を過ごすための交流の場を設け、親睦を深めることを目的とします。

第二回目開催 2011年11月7日(月)

ブラカン・プラリデル：キッチンOASAKA 2F

前回取り決めに基づき、場所持ち回りということで今回は北部組の拠点・ブラカン地区で行うことになりました。

南部ラグナ組は10時始まりの所、月曜日とのことで6:30にスタートしましたが当日は(イスラム犠牲祭)がレギュラー休日となり、既に8時には到着し、事前の練習試合が行なわれていました。

運のいい人は黙々と手作りに、そうでない人は口で負かそうと毒舌で足を引っ張りあう有り様でした。

今大会は一位、二位を南部組が占め、早めの準備練習の甲斐があっただけで点差(271点)で優勝しました。因みに第一回戦の点差は(517点)です。

持ち回りの優勝トロフィーは北部組から南部組に受け継がれ、その栄誉を称え来年一月の開催予定まで南部組に移管となりました。

併せて、第一回的一位(藤井・兄)、二位(鎌田)、三位(徳田)の方々には個人賞受賞を祝してそれぞれ金、銀、銅のメダルが贈られました。

熱戦後にはラグナ組は全員流れるプールのあるAgasa Hotelでの宿泊で、翌日はブラカン組・山越さんのホームコース：Royal South Woodで6人がゴルフを楽しみ、4人はブラカン・パオンボンの野畠宅でマーじゃんを楽しみ、17:00に集合解散いたしました。

* ゲームルール

- ・ 南北チーム所属者から同数の参加者でゲームを競う。
- ・ ゲーム数は一回戦(半チャン2回)、二回戦(半チャン2回)、優勝戦(半チャン1回)とし、各回とも南北各2名が参加し、一回戦は抽選で、二回戦は一回戦の南北上位者2名、優勝戦は二回戦までの合計で、南北上位者2名ずつが各卓に別れゲームを競う。

- ・ 南北チーム所属者から同数の参加者でゲームを競う。
- ・ 優勝チームにはその栄誉を称え持ち回り優勝杯及び優勝賞金を授与する。
- ・ 個人戦の上位入賞者（金・銀・銅）には、取りきりメダルと賞金及び若干のトビ賞を設け賞金を授与しそれぞれの栄誉を称える
- ・ 参加者は、ゲーム参加費として各500ペソを支払う。
- ・ 参加費の使用方法は次の内容とする。
団体戦優勝チーム：1. 800ペソ、個人一位（金）賞：1,500ペソ。
二位（銀）賞：700ペソ、三位（銀）賞：500ペソ、5位賞：300ペソ、9位賞：300ペソ、BB賞：400ペソを授与する。
- ・ 役満者には参加者全員から@P100の役満賞が贈られる。
場所提供料として参加費からP500を提供者に支払う。
- ・ トビによるゲーム終了はなし。
- ・ 半チャンのゲーム時間は1時間10分以内とし、ゲーム途中の場合は、終了時間の場で終了する。

参加者全員



南部・ラグナ組：落合、片淵、神谷、原田、藤井・弟、山本
北部・ブラカン組：鎌田、徳田、野畠、藤井・兄、山口、山越

第二回優勝者



第一回大会：金（藤井兄）



、銀（鎌田），銅（徳田）受賞者